

輪になって語ろう！

より多くの人を適切な支援に繋ぐために

“ここで出来る”をつなげよう

アルコール依存症支援

～ トリートメントギャップを埋めるためにそれぞれが出来ること ～

日本には、アルコール依存症はおおよそ109万人と推測されておりますが、治療につながっている方は約4万人と3.7%に留まっています。この差はトリートメントギャップと呼ばれています。「アルコール健康障害対策推進基本計画」では、一般病院においてアルコール問題への早期介入を行うこと、そして一般病院と専門医療機関が連携を行っていくことの重要性が述べられておりますが、適切な医療資源に『つながる・つなげる』ことは非常に困難な課題となっております。今回、アルコール依存症治療に関わる他機関、他職種の皆様にお集まり頂き、それぞれの機関の現状を共有しつつ、参加者の皆さんからの疑問や質問にお答えしながら、枠組みを超えた連携のあり方を検討する機会にしていけたらと思います。

座長：医療法人北仁会 旭山病院

理事長 山家 研司 氏

講師：医療法人社団豊生会 豊生会元町総合クリニック

消化器内科・在宅医 梅村 真知子 氏

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院

精神保健課部長 白坂 知彦 氏

医療法人北仁会 幹メンタルクリニック

看護師長兼事務長 木村 直友 氏

医療法人北仁会 旭山病院

精神保健福祉士 星川 亜未 氏

日 時

令和4年11月4日（金）17：30～19：00

研修形式

ZOOM

対象者

依存症支援に携わっている医療、福祉関係者

申込方法

<http://www.hokujin.or.jp/asahiyaama/form1>

or 右のQRコードからお申し込みください

締め切り

2022年11月2日

お問合せ

医療法人北仁会 旭山病院

kyoten.asahiyaama@gmail.com



参加料
無料

*** 申し込みフォームにて、講師への質問を受付しております（備考欄に入力して下さい） ***

*** 講演内でお答えさせていただきますので、是非ご活用下さい（当日もOK） ***

11月10日(木)～16日(水)は、アルコール関連問題啓発週間です。



依存症治療拠点機関旭山病院・北海道アルネット共催

